

# ちさんちしょう 地産地消だより

今回は、今年度 第1回目の地産地消の取り組みとして、野尻町東麓地区にあるピッグファーム嶺石さんで大切に育てられた「豚肉」を提供していただきました。たくさんの豚が育てられ、約半年でみなさんのものとお肉として届きます。1匹の誕生から愛情深く育てられたお肉を、味わっていただきましょう！

## ◇1か月でどれくらいの餌を食べるの？

1か月で約400 tの餌が食べられています。  
1匹の豚が毎日約2 kgを食べていることとなります。  
とうもろこしを主にした配合飼料を食べ、その中に麹菌を混ぜているため、臭みが少なく、お肉もやわらかくなり、豚自身も健康に育ちます。



## どれくらいの頭数があるの？

全体で約7000頭がいて、年間13000頭が出荷されていきます。

1つの飼料が入っているものに約5 tの餌を入れることができます。

1匹の豚が私たちのもとにお肉として届くのは半年後だそうです。生まれた時の重さは1.2kgほどでも小さくかわいいです。生まれてから21日で親と離れて育つので、それまでに粉ミルクや離乳食に慣れさせます。その後、飼料を食べて育ち、半年後には120kgまで大きく立派に育ちます。この大きさになっても1匹からとれるお肉の量は60kg。約半分です。1つの大切な命。大切においしくいただきましょう。



## せいさんしゃ みねいし 生産者の嶺石さんに 聞きました！

Q. 今回どうして提供しようと思ってくださったんですか？

みやざきと聞くとどうしても、みやざき牛のイメージがあるけれど、豚肉や他にもおいしいものが野尻町や小林市でもたくさん育てていることを知ってほしいという思いから今回の提供を考えました。

## ◎嶺石さんより みなさんへ

野尻町の子どもたちが健康に育ち、地元で育てられたおいしい豚肉を知り、またその豚肉を食べて、元気に大きくなっていくと嬉しいです。